

## 年中祭礼行事

月 日	祭典及び行事	時 間	祭典及び行事の趣旨
1月1日	<a href="#">歳旦祭</a> (さいたんさい)	式典：午前零時	元旦祭ともいい、新しい年の平安と繁栄を祈ります。
1月4日以降	飾付け収納（日程変更あり）9時		
1月15日	どんどやき	9時	小正月（1月15日）の行事で、正月に家庭で飾った注連縄（門松・しめ縄など）を焼き上げ、家内安全を祈ります。
3月16日	<a href="#">祈年祭</a> (御鞆祭)みくわさい	式典：14時	7世紀後半の <a href="#">天武天皇</a> の時代には既に記録がある。 正しくは「としごいのまつり」といい、春の耕作始めの時期にあたり、五穀豊穰をお祈りするお祭りです。 神饌（しんせん）を奉り（たてまつり）五穀のゆたかな稔りをお祈りする。“神饌（しんせん）”とは、神に供える飲食物。稲・米・酒・鳥獣・魚介・野菜（そさい）・塩・水など。
4月9日	田原稲荷祭	式典：14時	崇拜者の皆様の幸福と商売繁盛を祈ります。
8月16日	御霊社例祭(ごれいしゃれいさい)	式典：14時	藤原秀郷及び田原家4代の霊を慰める式典です。
10月 第二日曜日	秋季大祭 甘酒まつり 浜田舞獅子奉納	式典：14時	数日前から、浜田地区27の自治会及び氏子の皆さんから献灯された提灯を参道に飾ります。また参道の入り口に大幟を立てます。社宝の“兜鉢”を本殿内で一般公開します。甘酒を振舞います。
11月23日	勤労感謝祭 <a href="#">新嘗祭</a> (にいなめさい)	式典：14時	日本では、古くから <a href="#">五穀</a> の収穫を祝う風習があった。その年の収穫物は国家としてもそれからの一年を養う大切な蓄えとなることから、大事な行事として <a href="#">飛鳥時代</a> の <a href="#">皇極天皇</a> の御代に始められたと伝えられている。 その年に稔った新穀の収穫を神に感謝するとともに、国家と氏子・崇拜者の繁栄を祈ります。
12月25日 以降	年末清掃・新年飾り 門松設置	大安日 (日の出前)	数日前から浜田地区27の自治会及び氏子の皆さんから献灯された提灯を参道に飾ります。また参道の入り口に大幟を立てます。参道入り口に門松を設置します
12月31日	参拝者接待	20時～新年継続	20時以降に甘酒を振舞います。 どんどやき